

注3

大学番号：私305

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

中村学園大学 栄養科学部 フード・マネジメント学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中村学園  
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部経営企画室

職名・氏名 経営企画室室長・松本 マツモト 公典 コウスケ

電話番号 092-851-2594

（夜間） 092-851-2589

F A X 092-841-7762

e-mail stg@nakamura-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

栄養科学部

＜フード・マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人中村学園

## (2) 大学名

中村学園大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒814-0198

福岡県福岡市城南区別府5-7-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ リョウイチ) 中村 量一 (平成5年9月)		
学長	(カイ サトシ) 甲斐 諭 (平成23年11月)		
学部長	(ナカノ シュウジ) 中野 修治 (平成27年4月)	(ミナリ ヨシミ) 三成 由美 (平成30年4月)	任期満了のため平成30年4月1日より変更(30)
学科長等	(オオタ ヒデアキ) 太田 英明 (平成29年4月)	(ヤクシジ テツロウ) 薬師寺 哲郎 (平成31年4月)	任期満了のため平成31年4月1日より変更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)  
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
栄養科学部 フード・マネジメント学科 学士(栄養科学)	家政関係	4年	100人	10人 年次人	420人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	100 ( - ) [ ]	( - ) [ ]	100 ( - ) [ ]	( - ) [ ]	100 ( 10 ) [ ]	( ) [ ]	100 ( 10 ) [ ]	( ) [ ]	1.23倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	418 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	380 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	406 ( 3 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	347 ( 3 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	417 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	379 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	406 ( 3 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	344 ( 3 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	251 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	247 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	247 ( 2 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	287 ( 2 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	126 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	128 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	122 ( 2 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	117 ( 2 ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A			1.26		1.28		1.22		1.17				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	126 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	128 [ ] ( )	- [ - ] ( - )	122 [ - ] ( )	- [ - ] ( - )	117 [ - ] ( )	- [ - ] ( - )	2年次在学者中に以下を含む 転学科生：1名 3年次在学者中に以下を含む 編入学生：2名 転学科生：2名
2年次	/		/		126 [ ] ( )	- [ - ] ( - )	131 [ - ] (3)	- [ - ] ( - )	123 [ - ] (1)	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		/		124 [ ] ( )	- [ - ] ( - )	132 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	/		/		/		/		124 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	126 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	254 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	377 [ - ] ( 3 )	- [ - ] ( - )	496 [ - ] ( 1 )	- [ - ] ( - )	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	126 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	254 人	2 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	2 人	人	就職1名・除籍1名
			平成30年度	人	人	
令和元年度	377 人	3 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	就学意欲の低下
			平成30年度	1 人	人	他の教育機関への入学等
			令和元年度	1 人	人	その他
令和2年度	496 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		5 人		5 人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{254} = \boxed{0.78} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{377} = \boxed{0.79} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{496} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<栄養科学部 フード・マネジメント学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文科学教科	中村学	1・3前		2							兼2
	哲学	1・3前・後		2							兼1
	倫理学	1・3前		2							兼1
	日本文学	1・3前・後		2							兼2
	外国文学	1・3後		2							兼1
	神話の世界	1・3後		2							兼1
	心理学	1・3前・後		2							兼2
	メンタルヘルス論	1・3前		2							兼1
	現代社会と教育	1・3前・後		2							兼1
	リーダーシップ論	1・3前		2							兼1
	国際文化論	1・3後		2							兼1
	音楽の世界	1・3前		2							兼1
	アートワールド	1・3後		2							兼1
	宗教学	1・3前		2							兼1
	スポーツ文化	1・3後		2							兼1
	食の博多学	1・3後		2		1					
	法学	1・3前		2							兼1
	社会学	1・3後		2							兼1
	現代社会と政治	1・3後		2							兼1
	経済学	1・3前		2							兼1
	アジアの経済	1・3後		2							兼1
	九州経済事情	1・3前		2							兼1
	経営学	1・3前		2							兼1
	金融リテラシー	1・3前		2							兼1
	知的財産論	1・3後		2							兼1
	マスコミ論	1・3前		2							兼1
	歴史学	1・3前		2							兼1
	博多学	1・3後		2							兼1
	ジェンダー論	1・3前		2							兼1
	日本国憲法	1後		2							兼1
	社会福祉とボランティア	1・3前・後		2							兼2
	アジア食文化事情	1・3後		2							兼3
	国際食文化概論	1・3前		2		1					
	コミュニケーション論	1・3前		2			1				
野外活動体験	1・3前		2							兼2	
生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1							兼1	
生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1							兼1	
自然科学教科	数学の魅力	1・3前・後		2							兼2
	統計学入門	1・3後		2							兼1
	情報科学	1・3前・後		2							兼1
	環境論	1・3前		2							兼1
	化学	1・3後		2							兼1
	食の科学	1・3前		2		1					兼1
	生物学	1・3後		2							兼1
	地学	1・3前		2							兼1
	体の科学	1・3前		2							兼1
	色彩の科学	1・3前		2			1				兼1
	生物有機化学	1前		2							兼1
	基礎生物学	1前		2				1			兼1
	演習基礎化学	1前		2							兼1
情報処理演習Ⅰ	1前		1							兼1	
情報処理演習Ⅱ	1後		1							兼2	
外国語教科	総合基礎英語	1前		1							兼2
	英語リスニング	1後		1							兼2
	英語コミュニケーションA	2前		1							兼3
	英語コミュニケーションB	2後		1							兼3
	実用栄養英語A	1後		1							兼1
	実用栄養英語B	2前		1							兼2
	健康科学英語	3前		1							兼1
	英語・文化海外研修	1・3通		1							兼1
	中国語Ⅰ	4前		1							兼1
	中国語Ⅱ	4後		1							兼1
	韓国語Ⅰ	4前		1							兼1
	韓国語Ⅱ	4後		1							兼1
フランス語Ⅰ	1・3前		1							兼1	
フランス語Ⅱ	1・3後		1							兼1	
スペイン語Ⅰ	1・3前		1							兼1	
スペイン語Ⅱ	1・3後		1							兼1	
小計(68科目)	-										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文科学教科	中村学	1・3前		2							兼1
	哲学	1・3前・後		2							兼1
	倫理学	1・3前		2							兼1
	日本文学	1・3前・後		2							兼2
	外国文学	1・3後		2							兼1
	神話の世界	1・3前		2							兼1
	心理学	1・3前・後		2							兼2
	メンタルヘルス論	1・3前		2							兼1
	現代社会と教育	1・3前・後		2							兼2
	リーダーシップ論	1・3後		2							兼1
	国際文化論	1・3前・後		2							兼2
	音楽の世界	1・3前		2							兼1
	アートワールド	1・3後		2							兼1
	宗教学	1・3前		2							兼1
	スポーツ文化(令和2年未開講)	1・3後		2							
	食の博多学	1・3前		2				1			
	法学	1・3前		2							兼1
	社会学	1・3前・後		2							兼2
	現代社会と政治	1・3後		2							兼1
	経済学	1・3前・後		2				1			兼1
	アジアの経済	1・3前・後		2					1		兼1
	九州経済事情	1・3後		2							兼1
	経営学	1・3前		2							兼1
	金融リテラシー	1・3前		2							兼1
	知的財産論	1・3前		2							兼1
	マスコミ論	1・3前		2							兼1
	歴史学	1・3前・後		2							兼1
	博多学	1・3後		2							兼1
	ジェンダー論(令和2年未開講)	1・3前		2							
	日本国憲法	1前		2							兼1
	社会福祉とボランティア	1・3前・後		2							兼1
	アジア食文化事情	1・3前・後		2							兼6
	国際食文化概論	1・3前		2				1			
	コミュニケーション論	1・3前・後		2							兼1
野外活動体験(令和2年未開講)	1・3前		2								
生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1							兼1	
生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1							兼1	
自然科学教科	数学の考え方	1・3前・後		2							兼1
	統計学入門	1・3前		2							兼1
	情報科学	1・3前・後		2							兼1
	環境論	1・3後		2							兼2
	化学	1・3前		2							兼1
	食の科学	1・3前・後		2				1			兼1
	生物学	1・3後		2							兼1
	地学	1・3前・後		2							兼1
	体の科学	1・3前		2					1		
	色彩の科学	1・3前		2							兼1
	生物有機化学	1前		2							兼1
	基礎生物学	1前		2				1			兼1
	演習基礎化学	1前		2							兼1
情報処理演習Ⅰ	1前		1							兼1	
情報処理演習Ⅱ	1後		1							兼1	
外国語教科	総合基礎英語	1前		1							兼1
	英語リスニング	1後		1							兼1
	英語コミュニケーションA	2前		1							兼4
	英語コミュニケーションB	2後		1							兼4
	実用栄養英語A	1後		1							兼1
	実用栄養英語B	2前		1							兼1
	健康科学英語	3前		1							兼1
	英語・文化海外研修	1~4通		1							兼2
	中国語Ⅰ	4前		1							兼1
	中国語Ⅱ	4後		1							兼1
	韓国語Ⅰ	4前		1							兼1
	韓国語Ⅱ	4後		1							兼1
フランス語Ⅰ	1・3前		1							兼1	
フランス語Ⅱ	1・3後		1							兼1	
スペイン語Ⅰ	1・3前		1							兼1	
スペイン語Ⅱ	1・3後		1							兼1	
小計(68科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教科	基礎栄養学	1前	2			1						
	ライフステージ論Ⅰ	2前	2			1						
	ライフステージ論Ⅱ	2後	2			1						
	環境衛生学	3後	2									
	解剖生理学	1前	2									兼1
	生化学	1後	2									兼1
	有機化学	1前	2			1						
	食品化学	1前	2			1						
	食品資源学	1後	2			1						
	食品衛生学	2前	2					1				
	食品分析学	1後	2			1						
	微生物学	1前	2					1				
	食品バイオテクノロジー学	1後	2			1						
	食品学基礎実験	1前	1			1						
	食品化学実験	2前	1			1						
	国際食文化論	3前		2		1						
	和食文化論	3後		2		1						
	調理理論Ⅰ	1前	2			1						
	調理理論Ⅱ	1後	2			1						
	フードビジネス学	2前		2			1					
	食料経済学	1前		2		1						
	食品関係規約	2後		2				1				
	食品流通学	1前		2		1						
	マーケティング論	1後		2			1					
	アカウンティング	2前		2								兼1
	ファイナンス基礎	2後		2								兼1
	スポーツ栄養学	3前		2								兼1
	機能栄養学	2後		2								兼1
	栄養生化学実験	2前		1								兼1
	解剖生理学実験	1後		1								兼1
	発酵食品学	2後		2		1						
	食品機能学	2前		2		1						
	食品製造工学	3前		2								兼1
	プリザベーション学	2後		2								兼1
	食品加工学	1前		2		1						
食品流通技術論	3後		2								兼1	
フードスペシャリスト論	3前		2		1							
フードコーディネータ論	3前		2		1							
食品衛生学実験	2後		1				1					
食品機能学実験	3前		1		1							
官能評価・鑑別演習	3後		2		1							
食品加工学実習	1後		1		1							
経営分析論	3前		2		1							
食産業学	2前		2		1							
外食産業論	2後		2			1						
フードマネジメント論	2前		2			1						
フードマーケティング論	3後		2		1							
オペレーション戦略	4前		2								兼1	
組織行動とリーダーシップ	3前		2			1						
人的資源管理	4前		2								兼1	
フードファシリティマネジメント	4後		2								兼1	
食品工場見学	2前		1			1						
国内食文化研修	1前		2			1						
海外食文化研修	4前		2		1							
食品ビジネスインターンシップ	3前		2			1						
食品開発論	3前		2		1							
食品表示の実務	3後		1				1					
食品企業経営戦略論	2・4前		2			1						
食品ビジネス戦略論	1・3前		2		1							
6次産業化論	3後		2		1							
ストラテジック・マネジメント	4前		2					1			兼1	
食の機能性評価学	4後		2		1							
プレゼンテーション	1後		2			1						
対人コミュニケーション	2前		2			1						
異文化間コミュニケーション	2後		2			1						
論理的作文能力	1前		2			1						
マネジメント・コミュニケーションⅠ	3前		2			1						
マネジメント・コミュニケーションⅡ	3後		2			1						
卒業研究	4通		4		5	2	1					
小計(69科目)	-											
合計(137科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目59単位、教養科目から17単位以上(人文科学教科から6単位以上・自然科学教科から6単位以上・外国語教科から5単位以上)、さらに全体から48単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限：49単位(年間) ※ただし前年度単年度GPA1.5未満の学生は45単位/前年度単年度GPA2.5以上の学生は55単位)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教科	基礎栄養学	1前	2			1	1					
	ライフステージ論Ⅰ	2前	2			1	1					兼1
	ライフステージ論Ⅱ	2後	2			1	1					兼2
	環境衛生学	3後	2					1				兼2
	解剖生理学	1前	2					1				
	生化学	1後	2					1				兼1
	有機化学	1前	2			1						
	食品化学	1前	2			1			1			
	食品資源学	1後	2			1			1			
	食品衛生学	2前	2						1			
	食品分析学	1後	2			1						
	微生物学	1前	2						1			
	食品バイオテクノロジー学	1後	2			1						
	食品学基礎実験	1前	1			1						1
	食品化学実験	2前	1			1			1			2
	国際食文化論	3前		2		1						
	和食文化論	3後		2		1						
	調理理論Ⅰ	1前	2			1						
	調理理論Ⅱ	1後	2			1						1 兼1
	調理学実習	1後	2			1						
	フードビジネス学	2前		2			1					
	食料経済学	1前		2		1						
	食品関係規約	2後		2								兼1
	食品流通学	1前		2		1						
	マーケティング論	1後		2			1					
	アカウンティング	2前		2								兼1
	ファイナンス基礎	2後		2								兼1
	スポーツ栄養学	3前		2				1				兼2
	機能栄養学	2後		2				1				兼1
	栄養生化学実験	2前		1								1 兼1
	解剖生理学実験	1後		1					1			兼1
	発酵食品学	2後		2		1						
	食品機能学	2前		2		1				1		
	食品製造工学	3前		2								兼1
	プリザベーション学	2後		2								兼1
食品加工学	1前		2		1				1			
食品流通技術論	3後		2								兼1	
フードスペシャリスト論	3前		2		1			2				
フードコーディネータ論	3前		2		1			1				
食品衛生学実験	2後		1						1		1	
食品機能学実験	3前		1		1				1		1	
官能評価・鑑別演習	3後		2		1						2	
食品加工学実習	1後		1		1				1		1 兼1	
経営分析論	3前		2		1							
食産業学	2前		2		1							
外食産業論	2後		2			1						
フードマネジメント論	2前		2			1			1			
フードマーケティング論	3後		2		1							
オペレーション戦略	4前		2						1			
組織行動とリーダーシップ	3前		2			1						
人的資源管理	4前		2						1			
フードファシリティマネジメント	4後		2						1			
食品工場見学	2前		1			1					1	
国内食文化研修	1前		2			1			1		1	
海外食文化研修	4前		2		1							
食品ビジネスインターンシップ	3前		2			1						
食品開発論	3前		2		1							
食品表示の実務	3後		1						1		兼1	
食品企業経営戦略論	2・4前		2			1						
食品ビジネス戦略論	1・3前		2		1							
6次産業化論	3後		2		1							
ストラテジック・マネジメント	4前		2						1			
食の機能性評価学	4後		2		1					1		
プレゼンテーション	1後		2			1						
対人コミュニケーション	2前		2			1						
異文化間コミュニケーション	2後		2			1						
論理的作文能力	1前		2			1						
マネジメント・コミュニケーションⅠ	3前		2			1						
マネジメント・コミュニケーションⅡ	3後		2			1						
卒業研究	4通		4		6	3	2					
小計(69科目)	-											
合計(137科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目59単位、教養科目から17単位以上(人文科学教科から6単位以上・自然科学教科から6単位以上・外国語教科から5単位以上)、さらに全体から48単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限：49単位(年間) ※ただし前年度単年度GPA1.5未満の学生は45単位/前年度単年度GPA2.5以上の学生は55単位)

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文科学 教育	中村学	1・3前		2								兼1	
	哲学	1・3前・後		2								兼1	
	倫理学	1・3前		2								兼1	
	日本文学	1・3前・後		2								兼2	
	外国文学	1・3後		2								兼1	
	神話の世界	1・3前		2								兼1	
	心理学	1・3前・後		2								兼2	
	メンタルヘルス論	1・3前		2								兼1	
	現代社会と教育	1・3前・後		2								兼1	
	リーダーシップ論	1・3前		2								兼1	
	国際文化論	1前後・3後		2								兼2	
	音楽の世界	1・3前		2								兼1	
	アートワールド	1・3後		2								兼1	
	宗教学	1・3前		2								兼1	
	スポーツ文化	1・3前		2								兼1	
	食の博多学	1・3後		2		1							
	法学	1・3前		2								兼1	
	社会学	1・3後		2								兼1	
	現代社会と政治	1・3後		2								兼1	
	経済学	1前後・3前		2			1					兼1	
	アジアの経済	1前後・3後		2			1					兼1	
	九州経済事情	1前後・3前		2			1					兼1	
	経営学	1・3前		2								兼1	
	金融リテラシー	1・3前		2								兼1	
	知的財産論	1・3後		2								兼1	
	マスコミ論	1・3前		2								兼1	
	歴史学	1・3前		2								兼1	
	博多学	1・3後		2								兼1	
	ジェンダー論	1・3前		2								兼1	
	日本国憲法	1後		2								兼1	
	社会福祉とボランティア	1・3前・後		2								兼2	
	アジア食文化事情	1前後・3後		2								兼6	
	国際食文化概論	1・3前		2		1							
	コミュニケーション論	1前後・3前		2				1					
	野外活動体験	1・3前		2								兼4	
	生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1								兼1	
	生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1								兼1	
	自然科学 教育	数学の考え方	1・3前・後		2								兼2
		統計学入門	1・3後		2								兼1
		情報科学	1・3前・後		2								兼1
		環境論	1・3後		2								兼1
		化学	1・3前		2								兼1
		食の科学	1前後・3前		2		1						
		生物学	1・3前		2								兼1
		地学	1・3前		2								兼1
		体の科学	1・3前		2								兼1
		色彩の科学	1・3前		2			1					
		生物有機化学	1前		2								兼1
基礎生物学		1前		2								兼1	
演習基礎化学		1前		2								兼1	
情報処理演習Ⅰ		1前		1								兼1	
情報処理演習Ⅱ		1後		1								兼1	
外国語 教育	総合基礎英語	1前		1								兼1	
	英語リスニング	1後		1								兼2	
	英語コミュニケーションA	2前		1								兼3	
	英語コミュニケーションB	2後		1								兼3	
	実用栄養英語A	1後		1								兼1	
	実用栄養英語B	2前		1								兼2	
	健康科学英語	3前		1								兼1	
	英語・文化海外研修	1~4通		1								兼2	
	中国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	中国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	韓国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	韓国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	フランス語Ⅰ	1・3前		1								兼1	
フランス語Ⅱ	1・3後		1								兼1		
スペイン語Ⅰ	1・3前		1								兼1		
スペイン語Ⅱ	1・3後		1								兼1		
小計(68科目)	-												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文科学 教育	中村学	1・3前		2								兼1	
	哲学	1・3前・後		2								兼1	
	倫理学	1・3前		2								兼1	
	日本文学	1・3前・後		2								兼2	
	外国文学	1・3後		2								兼1	
	神話の世界	1・3前		2								兼1	
	心理学	1・3前・後		2								兼2	
	メンタルヘルス論	1・3前		2								兼1	
	現代社会と教育	1・3前・後		2								兼1	
	リーダーシップ論	1・3後		2					1				
	国際文化論	1前後・3後		2								兼2	
	音楽の世界	1・3前		2								兼1	
	アートワールド	1・3後		2								兼1	
	宗教学	1・3前		2								兼1	
	スポーツ文化	1・3後		2						1		兼1	
	食の博多学	1・3前		2								兼1	
	法学	1・3前		2								兼1	
	社会学	1・3後		2								兼1	
	現代社会と政治	1・3後		2								兼1	
	経済学	1前後・3前		2			1					兼1	
	アジアの経済	1前後・3後		2			1					兼1	
	九州経済事情	1前後・3前		2			1					兼1	
	経営学	1・3前		2								兼1	
	金融リテラシー	1・3前		2								兼1	
	知的財産論	1・3前		2								兼1	
	マスコミ論	1・3前		2								兼1	
	歴史学	1前後・3前		2								兼1	
	博多学	1・3後		2								兼1	
	ジェンダー論	1・3前		2								兼1	
	日本国憲法	1後		2								兼1	
	社会福祉とボランティア	1・3前・後		2								兼1	
	アジア食文化事情	1前後・3後		2								兼5	
	国際食文化概論	1・3前		2					1				
	コミュニケーション論	1前後・3前		2						1			
	野外活動体験	1・3前		2						1		兼3	
	生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1								兼1	
	生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1								兼1	
	自然科学 教育	数学の考え方	1・3前・後		2								兼2
		統計学入門	1・3前		2								兼1
		情報科学	1・3前・後		2								兼2
		環境論	1・3後		2								兼2
		化学	1・3前		2								兼1
		食の科学	1前後・3前		2					1			
		生物学	1・3前		2								兼1
		地学	1・3前		2								兼1
		体の科学	1・3前		2								兼1
		色彩の科学	1・3前		2						1		
		生物有機化学	1前		2								兼1
基礎生物学		1前		2						1			
演習基礎化学		1前		2								兼1	
情報処理演習Ⅰ		1前		1								兼1	
情報処理演習Ⅱ		1後		1								兼1	
外国語 教育	総合基礎英語	1前		1								兼1	
	英語リスニング	1後		1								兼2	
	英語コミュニケーションA	2前		1								兼3	
	英語コミュニケーションB	2後		1								兼4	
	実用栄養英語A	1後		1								兼1	
	実用栄養英語B	2前		1								兼1	
	健康科学英語	3前		1								兼1	
	英語・文化海外研修	1~4通		1								兼2	
	中国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	中国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	韓国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	韓国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	フランス語Ⅰ	1・3前		1								兼1	
フランス語Ⅱ	1・3後		1								兼1		
スペイン語Ⅰ	1・3前		1								兼1		
スペイン語Ⅱ	1・3後		1								兼1		
小計(68科目)	-												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教科	基礎栄養学	1前	2			1						
	ライフステージ論Ⅰ	2前	2			1						
	ライフステージ論Ⅱ	2後	2	2		1						
	環境衛生学	3後	2			1						
	解剖生理学	1前	2									兼1
	生化学	1後	2									兼1
	有機化学	1前	2			1						
	食品化学	1前	2			1						
	食品資源学	1後	2			1						
	食品衛生学	2前	2					1				
	食品分析学	1後	2			2						
	微生物学	1前	2					1				
	食品バイオテクノロジー学	1後	2			1						
	食品学基礎実験	1前	1			1						
	食品化学実験	1後	1			1						
	国際食文化論	3前		2		1						
	和食文化論	3後		2		1						
	調理理論Ⅰ	1前	2			1						
	調理学実習	1後	2			1						
	フードビジネス学	2前		2			1					
	食料経済学	1前		2								
	食品関係規約	2後		2				1				
	食品流通学	1前		2			1					
	マーケティング論	1後		2				1				
	アカウンティング	2前		2								兼1
	ファイナンス基礎	2後		2								兼1
専門教育	スポーツ栄養学	3前	2									兼1
	機能栄養学	2後	2									兼1
	栄養生化学実験	2前	1									兼1
	解剖生理学実験	1後		1								兼1
	発酵食品学	2後		2		1						
	食品機能学	2後		2		1						
	食品製造工学	3前		2								兼1
	プリザベーション学	2後		2								兼1
	食品加工学	2前		2		1						
	食品流通技術論	3後		2								兼1
	フードスペシャリスト論	3前		2		1						
	フードコーディネータ論	3前		2		1						
	食品衛生学実験	2後		1				1				
	食品機能学実験	3前		1		1						
	官能評価・鑑別演習	3後		2		1						
	食品加工学実習	2後		1		1						
	経営分析論	3前		2		1						
	食産業学	2前		2		1						
	外食産業論	2後		2			1					
	フードマネジメント論	2前		2			1					
	フードマーケティング論	3後		2		1						
	オペレーション戦略	4前		2								兼1
	組織行動とリーダーシップ	3前		2				1				
	人的資源管理	4前		2								兼1
	フードファシリティマネジメント	4後		2								兼1
	専門発展教科	食品工場見学	2前		1		1					
国内食文化研修		1前		2		1						
海外食文化研修		4前		2		1						
食品ビジネスインターンシップ		3前		2		1						
食品開発論		3前		2		1						
食品表示の実務		3後		1			1					
食品企業経営戦略論		2・4前		2			1					
食品ビジネス戦略論		1・3前		2		1						
6次産業化論		3後		2		1						
ストラテジック・マネジメント		4前		2								兼1
食の機能性評価学		4後		2		1						
プレゼンテーション		1後		2				1				
対人コミュニケーション		2前		2				1				
異文化間コミュニケーション		2後		2				1				
論理的作文能力		1前		2				1				
マネジメント・コミュニケーションⅠ		3前		2				1				
マネジメント・コミュニケーションⅡ	3後		2				1					
卒業研究	4通		4		5	1	2					
小計(69科目)	-											
合計(137科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目59単位、教養科目から17単位以上(人文科学教科から6単位以上・自然科学教科から6単位以上・外国語教科から5単位以上)、さらに全体から48単位以上を修得すること。  
 (履修科目の登録の上限：49単位(年間) ※ただし前年度単年度GPA1.5未満の学生は45単位/前年度単年度GPA2.5以上の学生は55単位)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教科	基礎栄養学	1前	2			1						
	ライフステージ論Ⅰ	2前	2			1						
	ライフステージ論Ⅱ	2後	2	2		1						
	環境衛生学	3後	2			1						
	解剖生理学	1前	2									兼1
	生化学	1後	2									兼1
	有機化学	1前	2			1						
	食品化学	1前	2			1						
	食品資源学	1後	2			1						
	食品衛生学	2前	2					1				
	食品分析学	1後	2			2						
	微生物学	1前	2					1				
	食品バイオテクノロジー学	1後	2			1						
	食品学基礎実験	1前	1			1						
	食品化学実験	1後	1			1						
	国際食文化論	3前		2		1						
	和食文化論	3後		2		1						
	調理理論Ⅰ	1前	2			1						
	調理学実習	1後	2			1						
	フードビジネス学	2前		2			1					
	食料経済学	1前		2								
	食品関係規約	2後		2								兼1
	食品流通学	1前		2			1					
	マーケティング論	1後		2				1				
	アカウンティング	2前		2								兼1
	ファイナンス基礎	2後		2								兼1
専門教育	スポーツ栄養学	3前	2									兼1
	機能栄養学	2後	2									兼1
	栄養生化学実験	2前	1									兼1
	解剖生理学実験	1後		1								兼1
	発酵食品学	2後		2		1						
	食品機能学	2後		2		1						
	食品製造工学	3前		2								兼1
	プリザベーション学	2後		2								兼1
	食品加工学	2前		2		1						
	食品流通技術論	3後		2								兼1
	フードスペシャリスト論	3前		2		1						
	フードコーディネータ論	3前		2		1						
	食品衛生学実験	2後		1				1				
	食品機能学実験	3前		1		1						
	官能評価・鑑別演習	3後		2		1						
	食品加工学実習	2後		1		1				1		
	経営分析論	3前		2		1						
	食産業学	2前		2		1						
	外食産業論	2後		2			1					
	フードマネジメント論	2前		2			1					
	フードマーケティング論	3後		2		1						
	オペレーション戦略	4前		2								兼1
	組織行動とリーダーシップ	3前		2				1				
	人的資源管理	4前		2								兼1
	フードファシリティマネジメント	4後		2								兼1
	専門発展教科	食品工場見学	2前		1		1					
国内食文化研修		1前		2		1						
海外食文化研修		4前		2		1						
食品ビジネスインターンシップ		3前		2		1						
食品開発論		3前		2		1						
食品表示の実務		3後		1			1					
食品企業経営戦略論		2・4前		2			1					
食品ビジネス戦略論		1・3前		2		1						
6次産業化論		3後		2		1						
ストラテジック・マネジメント		4前		2								兼1
食の機能性評価学		4後		2		1						
プレゼンテーション		1後		2				1				
対人コミュニケーション		2前		2				1				
異文化間コミュニケーション		2後		2				1				
論理的作文能力		1前		2				1				
マネジメント・コミュニケーションⅠ		3前		2				1				
マネジメント・コミュニケーションⅡ	3後		2				1					
卒業研究	4通		4		5	1	2					
小計(69科目)	-											
合計(137科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目59単位、教養科目から17単位以上(人文科学教科から6単位以上・自然科学教科から6単位以上・外国語教科から5単位以上)、さらに全体から48単位以上を修得すること。  
 (履修科目の登録の上限：49単位(年間) ※ただし前年度単年度GPA1.5未満の学生は45単位/前年度単年度GPA2.5以上の学生は55単位)

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育	中村学	1-3前		2								兼1	
	哲学	1-3前・後		2								兼1	
	倫理学	1-3前		2								兼1	
	日本文学	1-3前・後		2								兼2	
	外国文学	1-3後		2								兼1	
	神話の世界	1-3前		2								兼1	
	心理学	1-3前・後		2								兼2	
	メンタルヘルス論	1-3前		2								兼1	
	現代社会と教育	1-3前・後		2								兼1	
	リーダーシップ論 <small>(令和元年度開講)</small>	1-3前		2								兼2	
	国際文化論	1-3前・後		2								兼2	
	音楽の世界	1-3前		2								兼1	
	アートワールド	1-3後		2								兼1	
	宗教学	1-3前		2								兼1	
	スポーツ文化	1-3後		2								兼1	
	食の博多学	1-3前		2		1							
	法学	1-3前		2								兼1	
	社会学	1-3前・後		2								兼1	
	現代社会と政治	1-3後		2								兼1	
	経済学	1-3前・後		2			1					兼1	
	アジアの経済	1-3前・後		2			1					兼1	
	九州経済事情	1-3後		2			1						
	経営学	1-3前		2								兼1	
	金融リテラシー	1-3前		2								兼1	
	知的財産論	1-3前		2								兼1	
	マスコミ論	1-3前		2								兼1	
	歴史学	1-3前・後		2								兼1	
	博多学	1-3後		2								兼1	
	ジェンダー論	1-3前		2								兼1	
	日本国憲法	1後		2								兼1	
	社会福祉とボランティア	1-3前・後		2								兼1	
	アジア食文化事情	1-3前・後		2								兼6	
	国際食文化概論	1-3前		2		1							
	コミュニケーション論	1-3前・後		2								兼1	
	野外活動体験	1-3前		2								兼4	
	生涯スポーツ論・実習Ⅰ	1前		1								兼1	
	生涯スポーツ論・実習Ⅱ	1後		1								兼1	
	自然科学教科	数学の考え方	1-3前・後		2								兼1
		統計学入門	1-3前		2								兼1
		情報科学	1-3前・後		2								兼1
		環境論	1-3後		2								兼2
		化学	1-3前		2								兼1
		食の科学	1-3前・後		2		1						
		生物学	1-3後		2								兼1
		地学	1-3前		2								兼1
		体の科学	1-3前		2			1					
		色彩の科学	1-3前		2			1					
		生物有機化学	1前		2			1					兼1
基礎生物学		1前		2			1					兼1	
演習基礎化学		1前		2								兼1	
情報処理演習Ⅰ		1前		1								兼1	
情報処理演習Ⅱ	1後		1								兼1		
外国語教科	総合基礎英語	1前		1								兼1	
	英語リスニング	1後		1			1					兼1	
	英語コミュニケーションA	2前		1								兼4	
	英語コミュニケーションB	2後		1								兼4	
	実用栄養英語A	1後		1			1						
	実用栄養英語B	2前		1			1						
	健康科学英語	3前		1								兼1	
	英語・文化海外研修	1~4通		1			1					兼1	
	中国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	中国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	韓国語Ⅰ	4前		1								兼1	
	韓国語Ⅱ	4後		1								兼1	
	フランス語Ⅰ	1-3前		1								兼1	
	フランス語Ⅱ	1-3後		1								兼1	
スペイン語Ⅰ	1-3前		1								兼1		
スペイン語Ⅱ	1-3後		1								兼1		
小計(68科目)	-												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教科	基礎栄養学	1前	2			1	1						
	ライフステージ論Ⅰ	2前	2			1	1					兼1	
	ライフステージ論Ⅱ	2後	2	2		1						兼2	
	環境衛生学	3後	2			1						兼2	
	解剖生理学	1前	2				1						
	生化学	1後	2									兼1	
	有機化学	1前	2			1							
	食品化学	1前	2			1							
	食品資源学	1後	2			1							
	食品衛生学	2前	2					1					
	食品分析学	1後	2			2							
	微生物学	1前	2					1					
	食品バイオテクノロジー学	1後	2			1							
	食品学基礎実験	1前	1			2					1		
	食品化学実験	1後	1			2					1		
	国際食文化論	3前		2		1							
	和食文化論	3後		2		1							
	調理理論Ⅰ	1前	2			1							
	調理学実習	1後	2			1						兼1	
	フードビジネス学	2前		2			1						
	食料経済学	1前		2		1							
	食品関係規約	2後		2								兼1	
	食品流通学	1前		2		1							
	マーケティング論	1後		2				1					
	アカウンティング	2前		2								兼1	
	ファイナンス基礎	2後		2								兼1	
	専門教育	スポーツ栄養学 機能栄養学 栄養生化学実験 解剖生理学実験	3前	2				1					兼2
			2後	2			1						兼1
			2前	1									兼1
			1後		1			1					
		発酵食品学 食品機能学 食品製造工学 プリザベーション学 食品加工学 食品流通技術論 フードスペシャリスト論 フードコーディネータ論 食品衛生学実験 食品機能学実験 官能評価・鑑別演習 食品加工学実習	2後		2		1						
			2後		2		1						
			3前		2								兼1
			2後		2								兼1
			2前		2		1						
3後				2								兼1	
3前				2		2							
3前				2		1							
2後				1				1			1		
3前				1		1							
3後			2		2					1			
2後			1		1				1				
経営分析論 食産業学 外食産業論 フードマネジメント論 フードマーケティング論 オペレーション戦略 組織行動とリーダーシップ 人的資源管理 フードファシリティマネジメント		3前		2		1							
		2前		2		1							
		2後		2				1					
		2前		2				1					
		3後		2		1							
		4前		2								兼1	
		3前		2		1							
		4前		2								兼1	
		4前		2								兼1	
		4後		2								兼1	
食品工場見学 国内食文化研修 海外食文化研修 食品ビジネスインターンシップ 食品開発論 食品表示の実務 食品企業経営戦略論 食品ビジネス戦略論 6次産業化論 ストラテジック・マネジメント 食の機能性評価学 プレゼンテーション 対人コミュニケーション 異文化間コミュニケーション 論理的作文能力 マネジメント・コミュニケーションⅠ マネジメント・コミュニケーションⅡ		2前		1			1						
		1前		2			1	1	1				
		4前		2		1							
		3前		2			1						
		3前		2		1							
		3後		1				1				兼1	
		2・4前		2				1					
		1・3前		2		1							
		3後		2		1							
	4前		2								兼1		
4後		2		1									
1後		2		1									
2前		2		1									
2後		2		1									
1前		2		1									
3前		2		1									
3後		2		1									
卒業研究	卒業研究	4通	4			5	3	1					
小計(69科目)		-											
合計(137科目)		-											

卒業要件及び履修方法

必修科目59単位、教養科目から17単位以上(人文科学教科から6単位以上・自然科学教科から6単位以上・外国語教科から5単位以上)、さらに全体から48単位以上を修得すること。  
(履修科目の登録の上限：49単位(年間) ※ただし前年度単年度GPA1.5未満の学生は45単位/前年度単年度GPA2.5以上の学生は55単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・ 担当コマ調整により、「中村学」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 他科目との関連性を考慮し、以下の科目の開講期を変更。
  - 「神話の世界」「現代社会と教育」「スポーツ文化」「環境論」「化学」「生物学」「食品機能学」
- ・ 受講者分散のため、「国際文化論」の開講期を追加し、兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 受講者分散のため、「経済学」「アジアの経済」「九州経済事情」の開講期を追加し、教員配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・ 受講者分散のため、「アジア食文化事情」の開講期を追加し、兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・ 受講者分散のため、「コミュニケーション論」の開講期を追加し、野中 昭彦准教授就任辞退のため専任教員配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して、「野外活動体験」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・ より適切な科目名にするため、授業科目の名称を「数学の魅力」を「数学の考え方」に変更
- ・ 受講者分散のため、「食の科学」の開講期を追加し、教員配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・ 兼任講師の都合により、「情報処理演習Ⅱ」の担当者を変更し、兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 担当コマ調整により、「総合基礎英語」の担当者を変更し、兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 学士課程教育充実のため、「英語・文化海外研修」の開講年次を追加し、兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 科目の特性により適合した担当者に変更のため、「環境衛生学」の専任教員配置を「教授1」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「食品分析学」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 他科目との関連性を考慮し、「食品化学実験」の開講年次・開講期を変更。
- ・ 学士課程教育充実のため、「調理理論Ⅱ」(講義)を「調理学実習」(実習)に変更、これに伴い、「調理理論Ⅰ」を「調理理論」に科目名変更
- ・ 他科目との関連性を考慮し、「食品加工学」「食品加工学実習」の科目の開講年次を変更。
- ・ 野中 昭彦准教授就任辞退のため、以下の科目の専任教員配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
  - 「組織行動とリーダーシップ」「プレゼンテーション」「対人コミュニケーション」「異文化コミュニケーション」「論理的作文能力」「マネジメント・コミュニケーションⅠ」「マネジメント・コミュニケーションⅡ」
- ・ 野中 昭彦准教授就任辞退のため、「卒業研究」の専任教員配置を「教授5」「准教授2」「講師1」から「教授5」「准教授1」「講師2」に変更。

**【平成30年度】**

- ・ 他科目との関連性を考慮し、以下の科目の開講期を変更。
  - 「食の博多学」「知的財産論」「統計学入門」「現代社会と教育」
- ・ 他科目との関連性を考慮し、「リーダーシップ論」の開講期を変更し、教員配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・ 受講者分散のため、「歴史学」の開講期を追加。
- ・ 兼任講師の都合により、「社会福祉とボランティア」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 兼任講師の都合により、「アジア食文化事情」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して、「野外活動体験」の教員配置を「兼2」から「講師1」「兼3」に変更。
- ・ 兼任・兼任講師の都合により、「情報科学」「環境論」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して、「基礎生物学」の教員配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・ 兼任講師の都合により、「英語コミュニケーションB」の兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 兼任・兼任講師の都合により、「実用栄養英語B」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「食品化学実験」の専任教員配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 科目の特性により適合した担当者に変更のため、「食品関係規約」の教員配置を「講師1」から「兼1」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して「食品加工学実習」の教員配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。

**【令和元年度】**

- ・ 受講者分散のため、「国際文化論」「社会学」「経済学」「アジアの経済」の開講期を追加。
- ・ 兼任講師の都合により「九州経済事情」の開講期を変更し、教員配置を「教授1」「兼1」から「教授1」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「アジア食文化事情」の教員配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・ 受講者分散のため、「コミュニケーション論」の開講期を追加。吉村 美路講師退職により兼任講師に委嘱し、教員配置を「講師1」から「兼1」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して、「野外活動体験」の兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・ 兼任講師の都合により、「数学の考え方」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 竹嶋 美夏子准教授就任により、「体の科学」「解剖生理学」「解剖生理学実験」の教員配置が「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・ 津田 晶子准教授就任により、「英語リスニング」「英語・文化海外研修」の教員配置が「兼2」から「准教授1」「兼1」に変更。「実用栄養英語A」「実用栄養英語B」の教員配置が「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・ 兼任講師の都合により、「英語コミュニケーションA」の教員配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 授業内容充実のため、「基礎栄養学」の教員配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 授業内容充実のため、「ライフステージ論Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」「兼1」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「環境衛生学」の教員配置を「教授1」から「教授1」「兼2」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「食品学基礎実験」「フードスペシャリスト論」「官能評価・鑑別演習」の教員配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「スポーツ栄養学」の教員配置を「兼1」から「准教授1」「兼2」に変更。
- ・ 授業内容充実のため「機能栄養学」「調理学実習」の教員配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・ 授業内容を考慮して「国内食文化研修」の教員配置を「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 吉村 美路講師退職及び株田 文博教授就任により、以下の科目の専任教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
  - 「組織行動とリーダーシップ」「プレゼンテーション」「対人コミュニケーション」「異文化間コミュニケーション」「論理的作文能力」「マネジメント・コミュニケーションⅠ」「マネジメント・コミュニケーションⅡ」
- ・ 授業内容充実のため「食品表示の実務」の教員配置を「講師1」から「講師1」「兼1」に変更。
- ・ 株田 文博教授・竹嶋 美夏子准教授・津田 晶子准教授就任及び吉村 美路講師退職により、「卒業研究」の専任教員配置を「教授5」「准教授3」「講師1」に変更。
- ・ 吉元 あや美助手就任により、「食品学基礎実験」「食品化学実験」「食品衛生学実験」「官能評価・鑑別演習」に専任助手を配置。

**【令和2年度】**

- ・授業内容を考慮して、「現代社会と教育」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・他科目との関連性を考慮し、「リーダーシップ論」の開講期を変更。吉村 美路講師退職により兼任講師に委嘱し、教員配置を「講師1」から「兼1」に変更。
- ・授業内容を考慮して、「社会学」の兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業内容を考慮して、「アジアの経済」の教員配置を「兼1」から「准教授1」「兼1」に変更。
- ・授業内容を考慮して、「九州経済事情」の教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・他科目との関連性を考慮し、「日本国憲法」の開講期を変更。
- ・手嶋 康則准教授退職により、「色彩の科学」の教員配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・受講者分散のため、「地学」の開講期を追加。
- ・授業内容を考慮して、「英語・文化海外研修」の教育配置を「准教授1」「兼1」から「兼2」に変更。
- ・太田 英明特任教授退職により、以下の科目の専任教員配置を「教授2」から「教授1」に変更。  
「食品学基礎実験」「官能評価・鑑別演習」
- ・太田 英明特任教授退職及び授業内容を考慮して、「食品化学実験」の専任教員配置を「教授2」から「講師1」に変更。
- ・太田 英明特任教授退職及び山本 健太講師就任により、以下の科目の専任教員配置を「教員1」から「講師1」に変更。  
「食品化学」「食品資源学」「食品機能学」「食品加工学」「食品機能学実験」「食品加工学実習」
- ・手嶋 康則准教授退職及び用松 靖弘特命教授就任のため、以下の科目の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更  
「外食産業論」「食品企業経営戦略論」
- ・眞次 一満准教授及び用松 靖弘特命教授就任のため、以下の科目の教員配置を「兼1」から「教授1」もしくは「准教授1」に変更。  
「オペレーション戦略」「ストラテジックマネジメント」「人的資源管理」「フードファンディAMENT」
- ・手嶋 康則准教授退職のため授業内容を考慮して、「国内食文化研修」の専任教員配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・他科目との関連性の考慮及び授業内容充実のため、「食の機能性評価学」の配当年次を変更し、専任教員配置を「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・用松 靖弘特命教授・眞次 一満准教授・山本 健太講師・株田 文博教授・竹嶋 美夏子准教授・津田 晶子准教授就任及び太田 英明特任教授・手嶋 康則准教授・吉村 美路講師退職により、「卒業研究」の専任教員配置を「教授6」「准教授3」「講師2」に変更。
- ・石田 弘穂助手・新原 千央助手・森 美紀助手就任により、以下の科目に専任助手を配置。  
「栄養化学実験」「食品機能学実験」「食品化学実験」「食品加工学実習」「官能評価・鑑別演習」「調理学実習」「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」「国内食文化研修」「食品工場見学」

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	106 科目	0 科目	137 科目	31 科目 [ 0 ]	106 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	137 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	スポーツ文化	2	1・3	一般	選択	・兼任講師の本務都合により、令和2年度は閉講 (平成29年度・平成30年度・令和元年度は開講)
2	ジェンダー論	2	1・3	一般	選択	・兼任講師の本務都合により、令和2年度は閉講 (平成29年度・平成30年度・令和元年度は開講)
3	野外活動体験	2	1・3	一般	選択	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度は閉講(平成29年度・平成30年度・令和元年度は開講)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	調理理論Ⅱ	2	1	専門	必修	調理の実践を教授するため、科目名及び授業形態を変更し「調理学実習」として開講

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>未開講科目「スポーツ文化」、「ジェンダー論」、「野外活動体験」</p> <p>■大学の所見 「スポーツ文化」、「ジェンダー論」について、兼任講師の本務都合により閉講となった。また「野外活動体験」については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学生の安全確保の観点から閉講となった。設置計画段階では人文科学教科37科目44コマ開講であったが、令和2年度は34科目45コマ開講と、開講数は増加しており、また、3科目とも次年度以降は開講予定で4年間の在学中には履修機会があるため、学生に大きな不利益はないと考える。</p> <p>■「スポーツ文化」、「ジェンダー論」について、学生に配布する冊子「N-Guide」に変更後の内容を掲載しており、「野外活動体験」については、ポータルサイトに掲載しており、年度当初より周知されている。</p> <p>廃止科目「調理理論Ⅱ」</p> <p>■大学の所見 「調理理論」で調理学の基礎的な理論を修得した後に、「調理学実習」で調理学の実践を修得する教育課程に変更した。本学の建学の精神の一つ「教育研究の基本：理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める。」に沿っており、従来より教育効果を高めることが可能であることから、学生に不利益はないと考える。</p> <p>■学生への周知方法 学生に配布する「学生便覧」等の冊子類に変更後の内容を掲載しているため、入学時より周知されている。</p>
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{137} = \boxed{2.91\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	中村学園大学短期大学部（必要面積7,800㎡）と共用			
	校舎敷地	0 ㎡	31,934.84 ㎡	0 ㎡	31,934.84 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	34,284.52 ㎡	0 ㎡	34,284.52 ㎡				
	小計	0 ㎡	66,219.36 ㎡	0 ㎡	66,219.36 ㎡				
	その他	3,035.86 ㎡	5,194.63 ㎡	0 ㎡	8,230.49 ㎡				
	合計	3,035.86 ㎡	71,413.99 ㎡	0 ㎡	74,449.85 ㎡				
(2) 校舎	専用	12,267.25 ㎡ 11,640.38 ㎡	33,894.65 ㎡ 34,038.61 ㎡	3,607.41 ㎡ 2,819.04 ㎡	49,769.31 ㎡ 48,498.03 ㎡	中村学園大学短期大学部（必要面積5,900㎡）と共用 教室の用途変更のため(2) 教室の用途変更のため(元) 教室の用途変更のため(30) 既存建物解体による校舎面積の誤差のため(29)			
	(12,220.49 ㎡)	(33,930.45 ㎡)	(3,618.37 ㎡)	(49,769.31 ㎡)					
	-(12,199.65 ㎡)	-(33,908.25 ㎡)	-(3,661.41 ㎡)	-(49,825.47 ㎡)					
	-(12,164.92 ㎡)	-(33,908.25 ㎡)	-(3,696.14 ㎡)						
	-(11,880.79 ㎡)	-(34,317.63 ㎡)	-(3,627.05 ㎡)						
(3) 教室等	講義室	48室 46室	32室 34室	125室 124室 121室	7室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 教室の用途変更のため(2) 教室の用途変更のため(30)		
	演習室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数					専任教員の増加のため(2) 専任教員の増加のため(元)		
	栄養科学部 フード・マネジメント学科	11 10 8			室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	データベースの充実により学術雑誌を整理(2) データベースの充実により学術雑誌を整理(元) データベース系電子ジャーナルの充実により学術雑誌を整理(30) 不要図書の除却により図書減少、学術雑誌の整理により減少(29)  機械・器具： 教育研究充実のため増加(2) 機械・器具、標本はグループ除却のため減少(元) (H30.5)H20新校舎建設時購入備品のグループ除却のため減少 (H30.3)教育研究充実のため増加(30) 機械・器具：教育研究充実のため増加(29)	
	栄養科学部 フード・マネジメント学科	216,500 [44,350] (210,384 [43,924]) (-207,829 [-43,473]) (-203,733 [-43,083]) (-199,192 [-42,564])	344 [120] ( 258 [ 89 ] ) (-265 [-91]) (-276 [-91]) (-326 [-126])	62 [62] ( 49 [49]) (-49 [-49]) (-48 [-48]) (-63 [-63])	7,250 6,845 6,789 (-6,724) (-6,681)	4,266 4,130 4,315 3,132 3,089 (4,263) (4,169) (4,207) (7,257) (7,214)	14 15 16 (20) (-28) (-53)		
	計	216,500 [44,350] (210,384 [43,924]) (-207,829 [-43,473]) (-203,733 [-43,083]) (-199,192 [-42,564])	344 [120] ( 258 [ 89 ] ) (-265 [-91]) (-276 [-91]) (-326 [-126])	62 [62] ( 49 [49]) (-49 [-49]) (-48 [-48]) (-63 [-63])	7,250 6,845 6,789 (-6,724) (-6,681)	4,266 4,130 4,315 3,132 3,089 (4,263) (4,169) (4,207) (7,257) (7,214)	14 15 16 (20) (-28) (-53)		
	計	216,500 [44,350] (210,384 [43,924]) (-207,829 [-43,473]) (-203,733 [-43,083]) (-199,192 [-42,564])	344 [120] ( 258 [ 89 ] ) (-265 [-91]) (-276 [-91]) (-326 [-126])	62 [62] ( 49 [49]) (-49 [-49]) (-48 [-48]) (-63 [-63])	7,250 6,845 6,789 (-6,724) (-6,681)	4,266 4,130 4,315 3,132 3,089 (4,263) (4,169) (4,207) (7,257) (7,214)	14 15 16 (20) (-28) (-53)		
	計	216,500 [44,350] (210,384 [43,924]) (-207,829 [-43,473]) (-203,733 [-43,083]) (-199,192 [-42,564])	344 [120] ( 258 [ 89 ] ) (-265 [-91]) (-276 [-91]) (-326 [-126])	62 [62] ( 49 [49]) (-49 [-49]) (-48 [-48]) (-63 [-63])	7,250 6,845 6,789 (-6,724) (-6,681)	4,266 4,130 4,315 3,132 3,089 (4,263) (4,169) (4,207) (7,257) (7,214)	14 15 16 (20) (-28) (-53)		
	(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
2,736.62 ㎡		374席		23万冊					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	5,519.68 ㎡	テニスコート×4面		軟式野球場・サッカー場×各1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費 等、図書購入費：当初計画より減額のため(29)
		教員1人当たり研究費等	420千円 460千円	460千円	図書購入費	0千円	500千円 1,500千円	1,500千円	
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	0千円	26,100千円 5,000千円	5,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	設備購入費：当初計画より増額のため(29)	
		1,380千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称		中村学園大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
大学											
栄養科学部											
栄養科学科	4	200	3年次 20	840	学士 (栄養科学)	1.07	1.05		平成14年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
フード・マネジメン ト学科	4	100	3年次 10	420	学士 (栄養科学)	1.23	1.17		平成29年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
教育学部											
児童幼児教育学科	4	220	3年次 10	900	学士 (教育学)	1.16	1.22		平成23年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
流通科学部											
流通科学科	4	220	3年次 20	920	学士 (流通科学)	1.25	1.16		平成12年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
大学院											
栄養科学研究科											
栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (栄養科学)	0.91	1.00		平成2年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
(博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (栄養科学)	0.44	0.67		平成16年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
流通科学研究科											
流通科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (流通科学)	0.80	0.70		平成16年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
教育学研究科											
教育学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.60	0.80		平成17年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	
大学全体	—	764	60	3131	—	—	—	—	—	—	
大学 の 名 称		中村学園大学短期大学部									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
食物栄養学科	2	80	—	160	短期大学士 (食物栄養学)	1.07	1.06		昭和32年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号	

キャリア開発学科	2	120	—	240	短期大学士 (家政経済学)	1.16	1.19		平成19年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号
幼児保育学科	2	190	—	380	短期大学士 (保育学)	1.13	1.14		昭和44年度	福岡県福岡市城南区 別府5丁目7番1号
短期大学部全体	—	390	—	780	—	—	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山根 一文 (66) <平成29年4月>	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語A 実用栄養英語B
兼任	講師	中山 奈美 (45) <平成29年4月>	総合基礎英語 英語リスニング
兼任	講師	池田 祐子 (42) <平成29年4月>	外国文学
兼任	教授	占部 賢志 (66) <平成29年4月>	中村学※ 歴史学 博多学
兼任	教授	古相 正美 (59) <平成29年4月>	中村学※
兼任	教授	相良 康弘 (63) <平成29年4月>	生物学
兼任	教授	浅岡 由美 (57) <平成29年4月>	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリテーション ストラテジック・マネジメント
兼任	教授	新 茂則 (65) <平成29年4月>	金融リテラシー
兼任	教授	日野 修造 (53) <平成29年4月>	アカウンティング
兼任	准教授	本間 学 (61) <平成29年4月>	情報処理演習 I
兼任	講師	久保田 美鈴 (62) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報処理演習 II
兼任	講師	大塚 史典 (49) <平成29年4月>	情報処理演習 II
兼任	准教授	圓入 智仁 (40) <平成29年4月>	現代社会と教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	特任教授	小田 隆弘 (69) <平成29年4月>	体の科学 基礎生物学 生化学
兼任	教授	山根 一文 (66) <平成29年4月>	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語A 実用栄養英語B
兼任	講師	中山 奈美 (45) <平成29年4月>	実用栄養英語B
兼任	准教授	池田 祐子 (42) <平成29年4月>	外国文学
兼任	教授	岩田 京子 (56) <平成29年4月>	英語・文化海外研修【隔年】
兼任	講師	都地 沙央里 (29) <平成29年4月>	英語リスニング
兼任	教授	占部 賢志 (66) <平成29年4月>	中村学 歴史学 博多学
兼任	教授	相良 康弘 (63) <平成29年4月>	生物学
兼任	教授	浅岡 由美 (56) <平成29年4月>	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリテーション ストラテジック・マネジメント
兼任	教授	新 茂則 (65) <平成29年4月>	金融リテラシー
兼任	教授	日野 修造 (54) <平成29年4月>	アカウンティング
兼任	准教授	本間 学 (61) <平成29年4月>	情報処理演習 I
兼任	講師	清永 ゆう子 (61) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報処理演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任(再掲)	教授	水元 芳 (52) <平成29年4月>	基礎生物学 他
兼任	講師	小田 隆弘 (70) <平成29年4月>	生化学
兼任	講師	長光 博史 (42) <平成30年4月>	栄養生化学実験
兼任	教授	山根 一文 (67) <平成29年4月>	総合基礎英語 英語リスニング 実用栄養英語A 実用栄養英語B
兼任	准教授	池田 祐子 (43) <平成29年4月>	外国文学 英語・文化海外研修
兼任	准教授	木原 美樹子 (52) <平成30年4月>	英語・文化海外研修
兼任	教授	岩田 京子 (57) <平成29年4月>	英語・文化海外研修【隔年】
兼任	講師	矢ヶ部 あかり (39) <平成30年4月>	英語リスニング
兼任	教授	占部 賢志 (67) <平成29年4月>	中村学 歴史学 博多学
兼任	教授	相良 康弘 (64) <平成29年4月>	生物学
兼任	教授	浅岡 由美 (57) <平成29年4月>	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリテーション ストラテジック・マネジメント
兼任	教授	新 茂則 (66) <平成29年4月>	金融リテラシー
兼任	教授	日野 修造 (54) <平成29年4月>	アカウンティング
兼任	講師	本間 学 (62) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報科学
兼任	講師	清永 ゆう子 (62) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報処理演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任(再掲)	教授	水元 芳 (53) <平成29年4月>	基礎生物学 他
兼任	講師	長光 博史 (43) <平成30年4月>	生化学 栄養生化学実験
兼任	准教授	池田 祐子 (44) <平成29年4月>	外国文学
兼任	教授	岩田 京子 (58) <平成29年4月>	英語・文化海外研修【隔年】
兼任	講師	矢ヶ部 あかり (40) <平成30年4月>	英語リスニング
兼任	教授	占部 賢志 (68) <平成29年4月>	中村学 歴史学 博多学
兼任	教授	相良 康弘 (65) <平成29年4月>	生物学
兼任	教授	浅岡 由美 (58) <平成29年4月>	人的資源管理 オペレーション戦略 フード・ファシリテーション ストラテジック・マネジメント
兼任	教授	新 茂則 (67) <平成29年4月>	金融リテラシー
兼任	教授	日野 修造 (55) <平成29年4月>	アカウンティング
兼任	講師	本間 学 (63) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報科学
兼任	講師	清永 ゆう子 (63) <平成29年4月>	情報処理演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任(再掲)	教授	水元 芳 (54) <平成29年4月>	基礎生物学 他
兼任	講師	長光 博史 (44) <平成30年4月>	生化学 栄養生化学実験
兼任	准教授	池田 祐子 (45) <平成29年4月>	外国文学 英語・文化海外研修
兼任	准教授	木原 美樹子 (54) <平成30年4月>	英語・文化海外研修
兼任	講師	矢ヶ部 あかり (41) <平成30年4月>	英語リスニング
兼任	教授	占部 賢志 (69) <平成29年4月>	中村学 歴史学 博多学
兼任	教授	相良 康弘 (66) <平成29年4月>	生物学
専任(再掲)	准教授	眞次 一満 (49) <令和2年4月>	オペレーション戦略 ストラテジック・マネジメント 他
専任(再掲)	特命教授	用松 靖弘 (65) <令和2年4月>	人的資源管理 フード・ファシリテーション 他
兼任	講師	新 茂則 (68) <平成29年4月>	金融リテラシー
兼任	講師	土井 貴之 (46) <令和2年4月>	アカウンティング ファイナンス基礎
兼任	講師	本間 学 (64) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報科学
兼任	講師	清永 ゆう子 (64) <平成29年4月>	情報処理演習 I 情報処理演習 II



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任(再掲)	准教授	野中 昭彦 (46) <平成29年4月>	コミュニケーション論 他
兼任	教授	下田 満哉 (54) <平成29年4月>	食品製造工学 フリーズドライ学 食品流通技術論
兼任	教授	酒見 康廣 (66) <平成29年4月>	数学の魅力
兼任	講師	太田 昇一 (68) <平成29年4月>	数学の魅力
兼任	准教授	山崎 篤 (52) <平成29年4月>	メンタルヘルス論
兼任	講師	橋本 一雄 (39) <平成29年4月>	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験
兼任	講師	向坂 幸雄 (42) <平成29年4月>	環境論
兼任	講師	池田 浩 (39) <平成29年4月>	リーダーシップ論
兼任	講師	大浦 洋子 (61) <平成29年4月>	情報科学
兼任	講師	片山 礼二郎 (46) <平成29年4月>	九州経済事情
兼任	講師	蒲池 昌江 (52) <平成29年4月>	アートワールド
兼任	講師	河井 伸介 (55) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア
兼任	講師	園田 浩之 (45) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア 社会学
兼任	講師	金 英姫 (48) <平成29年4月>	韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	下田 満哉 (63) <平成29年4月>	食品製造工学 フリーズドライ学 食品流通技術論
兼任	教授	酒見 康廣 (66) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	講師	太田 昇一 (68) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	講師	村原 英樹 (36) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	准教授	山崎 篤 (52) <平成29年4月>	メンタルヘルス論
兼任	講師	橋本 一雄 (39) <平成29年4月>	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験
兼任	講師	向坂 幸雄 (42) <平成29年4月>	環境論
兼任	講師	藤村 まこと (40) <平成29年4月>	リーダーシップ論
兼任	講師	湯澤 泰生 (43) <平成29年4月>	情報科学
兼任	講師	橋本 弘治 (40) <平成30年4月>	情報科学
兼任	講師	片山 礼二郎 (46) <平成29年4月>	九州経済事情
兼任	講師	蒲池 昌江 (52) <平成29年4月>	アートワールド
兼任	講師	河井 伸介 (55) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア
兼任	講師	園田 浩之 (45) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア 社会学
兼任	講師	益田 仁 (34) <平成29年4月>	社会学
兼任	講師	金 英姫 (48) <平成29年4月>	韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	下田 満哉 (64) <平成29年4月>	食品製造工学 フリーズドライ学 食品流通技術論
兼任	教授	酒見 康廣 (67) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	講師	村原 英樹 (37) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	准教授	山崎 篤 (53) <平成29年4月>	メンタルヘルス論
兼任	講師	橋本 一雄 (40) <平成29年4月>	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験
兼任	准教授	向坂 幸雄 (43) <平成29年4月>	環境論
兼任	准教授	近江 貴治 (46) <平成30年4月>	環境論
専任(再掲)	講師	吉村 美路 (40) <平成29年4月>	リーダーシップ論 他
兼任	講師	橋本 弘治 (40) <平成30年4月>	情報科学
兼任	講師	片山 礼二郎 (47) <平成29年4月>	九州経済事情
兼任	講師	蒲池 昌江 (53) <平成29年4月>	アートワールド
兼任	講師	園田 浩之 (46) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア 社会学
兼任	講師	益田 仁 (35) <平成29年4月>	社会学
兼任	講師	金 英姫 (49) <平成29年4月>	韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ブルーノ カト クリスチンス (44) <平成31年4月>	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB
兼任	講師	赤間 健一 (40) <平成31年4月>	コミュニケーション論
兼任	教授	下田 満哉 (65) <平成29年4月>	食品製造工学 フリーズドライ学 食品流通技術論
兼任	講師	酒見 康廣 (68) <平成29年4月>	数学の考え方 情報処理演習 II
兼任	准教授	山崎 篤 (54) <平成29年4月>	メンタルヘルス論
兼任	講師	森 敦嗣 (38) <平成31年4月>	法学 現代社会と政治 日本国憲法
兼任	准教授	向坂 幸雄 (44) <平成29年4月>	野外活動体験 環境論
兼任	准教授	近江 貴治 (47) <平成30年4月>	環境論
兼任	講師	平野 琢 (39) <令和2年4月>	リーダーシップ論
兼任	講師	田村 大樹 (53) <令和2年4月>	九州経済事情
兼任	講師	蒲池 昌江 (55) <平成29年4月>	アートワールド
兼任	講師	園田 浩之 (47) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア 社会学
兼任	講師	益田 仁 (36) <平成29年4月>	社会学
兼任	講師	金 英姫 (50) <平成29年4月>	韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	赤間 健一 (41) <平成31年4月>	コミュニケーション論
兼任	教授	下田 満哉 (66) <平成29年4月>	食品製造工学 フリーズドライ学 食品流通技術論
兼任	講師	酒見 康廣 (69) <平成29年4月>	数学の考え方
兼任	准教授	山崎 篤 (55) <平成29年4月>	メンタルヘルス論
兼任	准教授	橋本 一雄 (42) <平成29年4月>	法学 現代社会と政治 日本国憲法 野外活動体験
兼任	講師	森 敦嗣 (39) <平成31年4月>	法学
兼任	准教授	向坂 幸雄 (45) <平成29年4月>	環境論
兼任	准教授	近江 貴治 (48) <平成30年4月>	環境論
兼任	講師	平野 琢 (39) <令和2年4月>	リーダーシップ論
兼任	講師	田村 大樹 (53) <令和2年4月>	九州経済事情
兼任	講師	蒲池 昌江 (55) <平成29年4月>	アートワールド
兼任	講師	園田 浩之 (48) <平成29年4月>	社会福祉とボランティア 社会学
兼任	講師	益田 仁 (37) <平成29年4月>	社会学
兼任	講師	里村 和歌子 (44) <令和2年4月>	社会学
兼任	講師	金 英姫 (50) <平成29年4月>	韓国語 I 韓国語 II





(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・太田 英明教授 学科長→学科主任に役職名決定
- ・授業内容を考慮して、担当科目を追加・削除  
(専任教員：水元 芳教授、池上 徹教授、薬師寺 哲郎教授、古田 宗宜講師)
- ・野中 昭彦准教授就任辞退により、吉村 美路講師に授業担当者を変更。
- ・担当コマ調整及び授業担当者都合により、授業担当科目を追加・削除  
(兼任教員：圓入 智仁、熊原 秀晃、竹嶋 美夏子、原 孝之、古相 正美、本間 学、安武 健一郎、山根 一文)  
(兼任教員：酒見 康廣、池田 浩、大浦 洋子、大塚 史典、久保田 美鈴、榊原 浩晃、サブリクプロ化 ジョエル、猿渡 剛、園田 浩之、中山 奈美、山岡 均、山中 美智男)
- ・担当コマ調整及び授業内容を考慮して、新規教員が就任  
(兼任教員：田村 孝洋、中川 隆、益田 仁、松田 武雄、村原 英樹、山田 朋子)  
(兼任教員：岩田 京子、小田 隆弘、津田 晶子、今井 洋輔、清永 ゆう子、柴田 俊一、竹野 良一、田中 嘉孝、都地 沙央里、長島 和幸、永山 寛、藤村 まこと、ホルル ジャン・マク、町田 真美、湯澤 泰生)
- ・受講者分散のため、科目の開講期を追加し、担当者を追加  
(兼任教員：長澤 雅春「国際文化論」)
- ・昇格のため、兼任教員 前田 卓雄准教授の職位を教授に変更
- ・徳井 教孝教授の本学薬膳科学研究所教授に就任により、兼任に変更

【平成30年度】

- ・定年により太田 英明教授の職位を特任教授に変更
- ・授業内容を考慮して、担当科目を追加・削除  
(専任教員：水元 芳教授、池上 徹教授、古田 宗宜講師、吉村 美路講師)
- ・担当コマ調整及び授業内容を考慮して、新規教員が就任  
(専任教員：武曾 歩)  
(兼任教員：近江 貴治、木原 美樹子、坂本 真由美)  
(兼任教員：長光 博史、橋本 弘治、川口 理恵、黒川 哲也、ジーンリー ウェア、ソレン エリック リバー、ドミニク マリーニ、原 謙一、ホスター トレバー アラン、矢ヶ部 あかり、ロバート プレスラー)
- ・昇格のため、兼任教員 竹嶋 美夏子講師の職位を准教授に変更し、担当コマ調整のため、担当科目を追加・削除
- ・昇格のため、本学短期大学部兼任教員 向坂 幸雄講師の職位を准教授に変更
- ・小田 隆弘教授の本学短期大学部退職により職位の変更及び担当科目を削除
- ・本間 学准教授の本学栄養科学部退職により職位の変更及び担当科目を追加・削除
- ・担当コマ調整及び授業担当者都合により、授業担当科目を追加・削除  
(兼任教員：池田 祐子、ジョハン パトラー プリテン、松田 武雄、山田 朋子、山根 一文)  
(兼任教員：津田 晶子、酒見 康廣、アロン ハン、今井 洋輔、太田 昇一、河井 伸介、後藤 道子、坂田 年男、千葉 由紀子、都地 沙央里、長島 和幸、中山 奈美、藤村 まこと、山中 美智男、湯澤 泰生、ヴァン ペンジャミン)

【令和元年度】

- ・太田 英明特任教授に代わり薬師寺 哲郎教授が学科主任に就任(平成31年4月1日付)
- ・担当コマ調整及び授業担当者都合により、授業担当科目を追加・削除  
(専任教員：池上 徹、水元 芳、竹嶋 美夏子、津田 晶子、古田 宗宜)  
(兼任教員：木原 美樹子、熊原 秀晃、ジョハン パトラー プリテン、坂本 真由美、中村 芳生、三成 由美、村原 英樹、山田 朋子、山根 一文)  
(兼任教員：向坂 幸雄、長光 博史、橋本 一雄、橋本 弘治、アロン ハン、ジーンリー ウェア、ソレン エリック リバー、ロバート プレスラー、ホスター トレバー アラン、小田 隆弘、片山 礼二郎、清永 ゆう子、酒見 康廣、田中 友佳子、田中 嘉孝)
- ・担当コマ調整及び授業内容を考慮して、新規教員が就任  
(専任教員：株田 文博【吉村 美路講師後任】、竹嶋 美夏子【兼任→専任】、津田 晶子【兼任→専任】)  
(兼任教員：荻本 逸郎、河手 久弥、那須 信樹)  
(兼任教員：阿部 志磨子、ブルノ カート クリスチャンス、赤間 健一、大森 万理子、田中 俊昭、森 敦嗣、柳橋 泰生)
- ・酒見 康廣教授の本学短期大学部退職により職位の変更

【令和2年度】

- ・担当コマ調整及び授業担当者都合により、授業担当科目を追加・削除  
(専任教員：山本 健太、池上 徹、薬師寺 哲郎、株田 文博、竹嶋 美夏子、津田 晶子、眞次 一満、用松 靖弘、古田 宗宜)  
(兼任教員：池田 祐子、木原 美樹子、岩田 京子、日野 修造、坂本 真由美、那須 信樹、野上 俊一、田村 孝洋、山田 朋子、中川 隆)  
(兼任教員：清永 ゆう子、アロン ハン、ドミニク マリーニ、ブルノ カート クリスチャンス、酒見 康廣、橋本 一雄、森 敦嗣、向坂 幸雄、金 英姫、黒川 哲也、大森 万理子、町田 真美)
- ・担当コマ調整及び授業内容を考慮して、新規教員が就任  
(専任教員：山本 健太講師【太田 英明特任教授後任】、眞次 一満准教授【手嶋 康則准教授後任】、用松 靖弘特命教授【手嶋 康則准教授後任】)  
(兼任教員：末武 勲、土井 貴之、大久保 敦、吉川 卓也)  
(兼任教員：平野 琢、田村 大樹、里村 和歌子、黄 聖媛、謝 文テイ、浦田 素子)
- ・武曾 歩助教の職位の変更【専任→兼任】
- ・手嶋 康則准教授の定年による退職に伴い、職位の変更【専任→兼任】
- ・新 茂則教授の本学流通科学部退職により職位の変更【兼任→兼任】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	2	1	0	8	0	6	3	2	0	11	4
(5)	(1)	(2)	(0)	(8)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	3	2	0	11	4	6	3	2	0	11	4
[1]	[1]	[1]	[0]	[3]	[4]	[1]	[1]	[1]	[0]	[3]	[4]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
【平成18年4月1日以降雇用者】 教授：65 准教授：62 講師：62 助教：62	2	2
【平成18年4月1日以前雇用者】 教授：68 准教授：62 講師：62 助教：62	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{8} = \boxed{137.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	野中 昭彦		選択	コミュニケーション論	①	本学流通科学部准教授として雇用されており、平成29年4月よりフード・マネジメント学科教員として就任予定だったが、平成28年9月に一身上の都合による退職願が提出され、就任辞退となった(29)			
				選択	組織行動とリーダーシップ	①				
				選択	プレゼンテーション	①				
				選択	対人コミュニケーション	①				
				選択	異文化コミュニケーション	①				
				選択	論理的作文能力	①				
				選択	マネジメント・コミュニケーションI	①				
				選択	マネジメント・コミュニケーションII	①				
				必修	卒業研究	①				
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	吉村 美路		選択	コミュニケーション論	②	H31. 3. 31付け一身上の都合により辞任 (元)			
				選択	野外活動体験	②				
				選択	リーダーシップ論	③				
				選択	組織行動とリーダーシップ	①				
				選択	プレゼンテーション	①				
				選択	対人コミュニケーション	①				
				選択	異文化コミュニケーション	①				
				選択	論理的作文能力	①				
				選択	マネジメント・コミュニケーションI	①				
				選択	マネジメント・コミュニケーションII	①				
				必修	卒業研究	①				
2	助教	武曾 歩		必修	食品加工学実習	②	R2. 4. 1付け同学部栄養科学科へ異動のため辞任 (2)			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	10	科目	選択	7	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	8	科目	計	4	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3 人	必修	3 科目	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	18 科目	選択	15 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	21 科目	計	17 科目	計	4 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{8} = \boxed{37.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	太田 英明	必修	食品科学	①	R2.3.31付け定年により退職 (2)		
			必修	食品資源学	①			
			必修	食品化学実験	①			
			必修	食品機能学	①			
			必修	食品加工学	①			
			選択	食品機能学実験	①			
			必修	官能評価・鑑別演習	①			
			必修	食品加工学実習	①			
			必修	卒業研究	①			
2	准教授	手嶋 康則	選択	色彩の科学	②	R2.3.31付け定年により退職 (2)		
			選択	フードビジネス学	①			
			選択	マーケティング論	①			
			選択	外食産業論	①			
			選択	フードマネジメント論	①			
			選択	食品工場見学	①			
			選択	国内食文化研修	①			
			選択	食品ビジネスインターソップ	①			
			選択	食品企業経営戦略論	①			
			必修	卒業研究	①			
			合計				後任補充状況の集計	
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	10 科目	選択	9 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	19 科目	計	18 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員1名の退職はやむを得ないものと判断し、同分野の教員を採用した。学科開設前の変更であり、学生へは入学当初より新規採用教員で授業を実施したため、履修等に影響はなかった。(29)

教員1名の退職はやむを得ないものと判断し、同分野の教員を採用した。学生へは年度当初より新規採用教員で授業を実施し、後任未定の教養科目については次年度以降の受講が可能であるため、履修等に影響はなかった。(元)

退職となった教員3名のうち、2名の退職は定年によるものであり、同分野の教員を採用した。1名の退職は、同一学部内での学内異動であり、引き続き科目を担当するため支障なかった。学生へは年度当初より新規採用教員で授業を実施したため、履修等に影響はなかった。(2)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (平成30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (平成31年3月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (令和2年3月)	中村学園大学の既設学科等（流通学部流通科学科）の入学定員超過の改善に務めること。	指摘事項 (改善)  例年、一般選抜入学者の歩留率は約30%となっているが、大規模大学の入学定員厳格化に伴い、他大学との併願受験者の歩留率が上昇し、40%近い歩留率となったことが定員超過の要因となった。そのため、令和2年度入試では一般選抜での合格者を絞り込み、適正な入学者数となった。平成30年度から段階的に削減している指定校推薦の依頼人数見直しも継続するとともに、今後も一層、適正な定員管理に努めたい。	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <栄養科学部 フード・マネジメント学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

(平成29年度～令和元年度)

全学的な組織としてFD委員会およびFD推進委員会を設置している。それぞれの役割は次のとおりであり関係規程を添付する。

- ・FD委員会：FD推進の中核組織として、FDの基本方針及び基本計画を策定するとともにその点検・評価を行う。
- ・FD推進委員会：FDの推進計画を策定し、全学的FDの企画・実施を担う。

また、本学科では、教員の資質向上のため活動を企画し推進するため、独自のFD年次計画を策定している。

(令和2年度)

令和2年度より体制の見直しにより、FD委員会・FD推進委員会を廃止し、新たにFDセンターを設置した。審議会およびFDセンターが全学的な組織としてFDを担う新体制となり、それぞれの役割は次のとおりである。

- ・審議会：全学的なFDの基本方針や基本計画を担う。
- ・FDセンター：FDの基本方針や基本計画をもとに、全学的なFDの実施を担う。

また、本学科では、教員の資質向上のため活動を企画し推進するため、独自のFD年次計画を策定している。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD委員会：構成員は教員15名・事務職員3名  
(平成29年度) 2回開催、平均出席率100% (平成30年度) 1回開催、出席率100%  
(令和元年度) 2回開催、平均出席率89%
- ・FD推進委員会：構成員は教員18名・事務職員1名  
(平成29年度) 3回開催、平均出席率76% (平成30年度) 2回開催、平均出席率92%  
(令和元年度) 2回開催、平均出席率92%

###### c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項等は、次のとおりである。

(平成29年度)

- ・平成28年度FD実施方針の結果及び平成29年度・30年度FD実施方針について
- ・各学部、学科、研究科のFD実施計画・FD実施報告について
- ・公開授業（授業参観）実施要領の見直し
- ・教育ワークショップの開催
- ・平成29年度授業についてのアンケート実施
- ・外部評価委員会規程（案）について
- ・各学部、学科、研究科のFD推進

(平成30年度)

- ・平成29年度FD実施方針の結果及び令和元年度FD実施方針について
- ・各学部、学科、研究科のFD実施計画・FD実施報告について
- ・公開授業（授業参観）に関するアンケートの実施及び実施要領について
- ・教育ワークショップの開催
- ・平成30年度授業についてのアンケート実施
- ・ナンバリング（案）について

(令和元年度)

- ・平成30年度FD実施方針の結果及び令和元年度・2年度FD実施方針について
- ・各学部、学科、研究科のFD実施計画・FD実施報告について
- ・公開授業（授業参観）実施結果及び実施要領の見直しについて
- ・教育ワークショップの開催
- ・授業についてのアンケート項目の見直し及び実施について
- ・教育目標及び3つのポリシーの新規策定及び一部改正について
- ・新任教員ティーチングサポートプログラムの新規策定について

(令和2年度予定)

- ・令和元年度FD実施方針の結果及び令和3年度FD実施方針について
- ・各学部、学科、研究科のFD実施計画・FD実施報告について
- ・公開授業（授業参観）実施について
- ・教育ワークショップの開催
- ・授業についてのアンケート実施
- ・新任教員ティーチングサポートプログラムの実施
- ・ルーブリック評価の導入検討及びICT教育の拡充

<フード・マネジメント学科FD実施計画>

教育目標の達成に向けて、FDを通じた教育研究システムを構築する。

(平成29年度)

- ・入学前教育  
自学自習（英語・国語・数学・化学・生物）の徹底並びに奨励課題（語学学習、読書推奨）の実施。
- ・初年次導入教育  
プレイスメントテストの実施、習熟度別実践的英語教育の実施。
- ・補完授業  
文系コース出身者に対する補完学習、英語力向上講座の実施及び地元企業による実践演習の導入。

(平成30年度)

- ・入学前教育  
自学自習（5科目）の徹底並びに個別評価の実施。
- ・初年次教育  
プレイスメントテストの実施、習熟度別実践的英語教育（補完授業）の実施。
- ・産学官連携  
学生を主体とした複数の企業・行政と連携したプロジェクトを実施。

(令和元年度)

- ・初年次教育  
自学自習（5科目）の徹底並びに初年次教育のシステム化。  
プレイスメントテストによる習熟度別クラス編成と補完授業の実施。  
次年度入学前ドリルの改訂。
- ・TOEIC受験の推奨  
新入生全員にTOEICブリッジテストを実施し、TOEIC-IPテスト受験を奨励。
- ・産学官連携  
学生を主体とした複数の企業・行政と連携したプロジェクトを実施。  
「次世代食産業人材育成懇談会」を開催。
- ・資格試験の支援強化  
HACCP管理者、食品表示診断士（初級・中級）、フードスペシャリスト資格試験の取得支援。
- ・新カリキュラム検討及びリカレント教育に関する予備的な検討  
学生授業アンケートの結果等を踏まえた現行カリキュラムの検討。

(令和2年度予定)

- ・初年次教育  
昨年度システム化した「初年次教育演習」（非正課）の実施及び正課科目化検討。
- ・グローバル人材育成（TOEIC、ダブルディグリー、海外食文化研修）  
学科創設後4年間の振り返り及びグローバル人材育成の課題を検討。
- ・産学官連携  
産学官連携授業の現状と課題の共有。
- ・資格試験の支援継続  
HACCP管理者、食品表示診断士（初級・中級）、フードスペシャリスト資格試験の取得支援及び情報共有。
- ・新カリキュラムへの移行準備
- ・リカレント教育の検討及び高校生向けアクティブラーニングのプログラム開発

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・授業についてのアンケート（全学）
- ・公開授業（授業参観）（全学：併設校を含む）
- ・教育ワークショップ（全学）
- ・各学部学科独自のFD実施計画に基づいた取組み

## b 実施方法

- ・公開授業（授業参観）  
授業の公開を通じ、教員相互による標準的且つ客観的な分析を行い、授業水準の確保並びに授業内容や教育方法の改善を図っている。また、教育課程における科目間関係の理解を深め、教育目標やディプロマポリシーを踏まえた授業改善を目的としている。  
通年をとおして併設校を含む学園教職員を対象に全ての授業を公開している。更に公開集中期間を設けて積極的な参観を促すとともに、被参観者は参観者の参観レポートを授業改善の参考としている。
- ・教育ワークショップ  
授業改革の推進を目的として、併設短期大学部と合同の教育ワークショップを年1回開催している。外部講師招聘による基調講演や各学部・学科の取組事例の発表、全体討論等を行う。
- ・各学科のFD実施計画  
毎年、各学科の目標達成に向けたFD実施計画を策定し、FD研修会や課題検討について取組んでいる。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

（平成29年度）

- ・公開授業  
通年期間（前学期授業期間）平成29年4月6日～7月26日、（後学期授業期間）平成29年9月14日～平成30年1月22日  
前学期集中期間 平成29年6月5日～23日（3週間）  
【参観人数】 延べ260名 【被参観人数】 延べ236名  
後学期集中期間 平成29年11月6日～24日（3週間）  
【参観人数】 延べ255名 【被参観人数】 延べ216名
- ・教育ワークショップ  
日 程 平成29年9月11日 場所 中村学園大学2406教室  
内 容 (1)3ポリシー策定後の教育改革の取り組み：アセスメントポリシーやルーブリックにおける評価の充実「大学教員のためのインストラクショナルデザインとアセスメント」と題し、基調講演を実施した。  
(2)教育の質的向上を目指す取り組みや新たな教育改革を支援する本学独自の制度「教育改革支援制度」の3課題の取り組みについて発表し、成果報告を共有した。  
参加者 教職員184名（教員の参加率90%）

（平成30年度）

- ・公開授業  
通年期間（前学期授業期間）平成30年4月9日～7月30日、（後学期授業期間）平成30年9月14日～平成31年1月21日  
前学期集中期間 平成30年6月4日～15日（2週間）  
【参観人数】 84名 【被参観人数】 延べ168名  
後学期集中期間 平成30年11月5日～16日（2週間）  
【参観人数】 74名 【被参観人数】 延べ141名
- ・教育ワークショップ  
日 時 平成30年9月10日 場所 中村学園大学2401教室（全体会）、4号館食堂（分科会）  
内 容 (1)3ポリシー策定後の教育改革の取り組み：教育の可視化に向けてルーブリック評価の実践－  
(2)教育の質的向上を目指す取り組みや新たな教育改革を支援する本学独自の制度「教育改革支援制度」の2課題の取り組みについて発表し、成果報告を共有した。  
参加者 教職員156名（教員の参加率93%）

（令和元年度）

- ・公開授業  
通年期間（前学期授業期間）平成31年4月8日～令和元年7月29日、  
（後学期授業期間）令和元年9月16日～令和2年1月20日  
前学期集中期間 令和元年6月3日～21日（3週間）  
【参観人数】 81名 【被参観人数】 延べ160名  
後学期集中期間 令和元年11月5日～22日（3週間）  
【参観人数】 75名 【被参観人数】 延べ145名
- ・教育ワークショップ  
日 時 令和元年9月9日 場所 中村学園大学2406教室  
内 容 (1)新教務システムUNIPAとN-Noteを活用した教育方法について  
(2)教育の質的向上を目指す取り組みや新たな教育改革を支援する本学独自の制度「教育改革支援制度」の2課題の取り組みについて発表し、成果報告を共有した。  
参加者 教職員177名（教員の参加率88%）

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・公開授業は、参観した教職員はレポートに当該授業の良かった点、自身の授業に取り入れたい点、その他（感想、改善アドバイス等）を記し、FD推進センターを介して被参観者へ提出している。レポートに基づき授業を振り返ることにより、確実に授業改善へと繋げている。
- ・教育ワークショップは、各学部・学科の特色に伴う授業上の問題点やそれに対する工夫についての全学教員による直接の情報共有の場であり、新しいアイデアの創出や共通認識を図る場となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業についてのアンケート

学生は、パソコンや携帯端末からポータルサイト上の授業アンケートシステムにアクセスし、履修科目ごとにアンケートを回答する。教員はシステムからアンケートの集計結果や自由記述を確認し、アンケート結果に対するコメントを入力することができる。

[実施時期]

各学期末の授業最終回（前学期7月、後学期1月）に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業についてのアンケートの集計結果は、委員会で把握するとともに各授業担当教員はアンケートシステムで確認し授業改善の参考としている。

また、アンケートで明らかになった課題等を各学科の研修会やワークショップのテーマに取り上げ、課題の共有を図っている。更に、教員の意欲向上と授業改善の活性化を図ることを目的としてアンケート結果や授業形態、学生投票結果などを総合的に評価しベストティーチャー賞として表彰している。

これら授業アンケートの結果やベストティーチャー賞の表彰については、本学のホームページで公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

栄養科学部フード・マネジメント学科は、栄養科学の知識・技術およびグローバルな視点を持って考える態度を基盤とし、健康増進に寄与する食品の研究・開発・製造のための知見に加え、食科学を国内外へのビジネスへつなげる知見を併せもつことで、高付加価値な食産業を創出できる人材の養成を目的としている。本学が立地する九州において、九州経済を牽引する食品加工・製造等の食産業にて活躍できる人材の育成・輩出という社会的要請に応えようとするものである。

学科設置後、構築したカリキュラムの着実な実行に努めており、食ビジネスをグローバルに捉える視野を養う英語教育の実施や姉妹校との連携による調理技術の向上、産学連携によるインターンシップの実施や商品企画の取組みなど実践教育を推進している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和2年6月30日 公表

b 公表方法

年次事業計画に対する活動実績について毎年6月に事業報告としてホームページで公表している。また、主体的な自己点検・評価に加え、産学官の客観的な視点による外部評価や、大学基準協会による機関別認証評価結果並びに点検・評価報告書について公表している。

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学基準協会による機関別認証評価を受審し適合認定を受けた。

次回の機関別認証評価は、令和3年度に受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。